



2026 年 2 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 榎 沢 徹
(スタンダード市場・コード 6 8 3 8)
問合せ先 経 営 企 画 部 松 宮 弘幸
電話番号 0 3 - 6 4 3 5 - 6 9 3 3

時価評価差額の計上を含む 2026 年 10 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 12 月 15 日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2026 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 11 月 1 日～2026 年 10 月 31 日）

2026 年 10 月期の通期連結業績予想（注1）

	売上高	事業利益	親会社株主に 帰属する 当期利益（注2）	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想（A）	百万円 6,270	百万円 369	百万円 238	円 銭 36.14
今回修正予想（B）	6,620	560	730	106.03
増減額（B-A）	350	191	492	69.89
増減率（%）	5.5%	51.7%	206.7%	193.3%

注1．当社は2026年10月期第1四半期連結会計期間の連結財務諸表より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたします。2026年10月期の連結業績予想はIFRSに基づいて作成しているため、日本基準による2025年10月期の実績に対する増減率は記載しておりません。また事業利益は、営業利益に持分法による投資損益を加算し、非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しています。

注2．親会社株主に帰属する当期利益には、当社海外現地法人が保有する海外株式の2026年1月末時点の評価益を金融収益に織り込んでおります。今後、この評価益は四半期決算時点での評価損益で洗い替え、開示基準に抵触する変動がある場合には、都度、修正してまいります。

2. 修正理由

2026 年 10 月期通期の売上高、事業利益、親会社株主に帰属する当期利益が 2025 年 12 月 15 日に公表した業績予想を上回る見込みであります。これは、次の 2 つの要因によるものです。

- （1） 電子・通信用機器事業においては、主力製品が量産フェーズに移行したことに加えて、生産が順調に推移していることから、利益水準が当初計画を大きく上回る見込みとなっております。

連結ベースの売上高は、期初業績予想の 6,270 百万円を 350 百万円上回る 6,620 百万円、事業利益は同予想の 369 百万円を 191 百万円上回る 560 百万円での着地を見込んでおります。

この結果、2025 年 12 月 4 日に公表した中期経営計画における 2027 年 10 月期の営業利益 446 百万円を、進行期において上回る見通しとなりました。今後も、同計画のさらなる前倒しでの達成に向けて取り組んでまいります。

(2) 当社海外現地法人が保有する海外株式について、2026 年 1 月末時点の評価益は 495 百万円となっており、2026 年 10 月期第 1 四半期以降、金融収益として計上してまいります。これにより、親会社株主に帰属する当期利益の増加を見込んでおります。

なお、今回の通期連結業績予想においては、当該海外株式の評価益について、2026 年 1 月末時点での水準から実効税額相当額を減じた金額を当期利益として計上しております。今後は、各四半期決算時点の評価損益で洗い替えを行い、開示基準に抵触する変動が生じた場合には、その都度業績予想を修正してまいります。

親会社株主に帰属する当期利益については、税効果会計に関する見積りの影響等により変動する可能性がございますので、重要な影響を与える新たな事象が発生しましたら速やかに公表させていただきます。

当社グループは、引き続き更なる企業価値の拡大並びに利益の最大化に努めてまいります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上